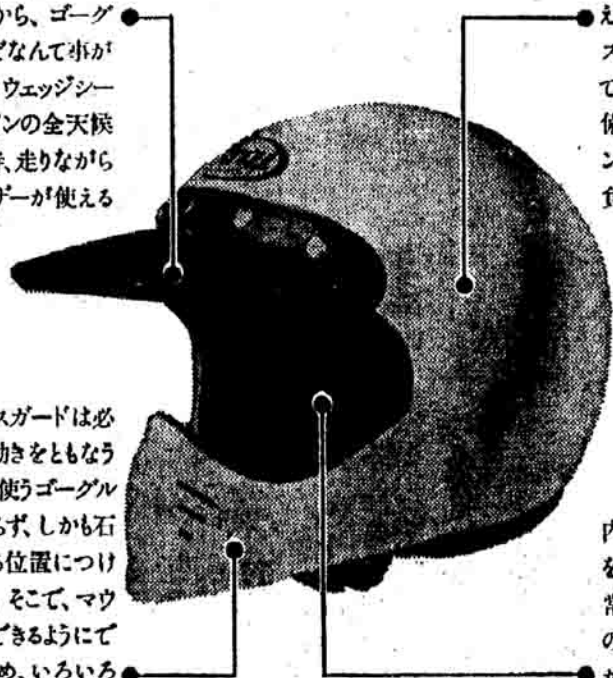


M-X Racing Type、モトクロス用、オフロード用に

走りを知る **Arai** HELMET が自信をもっておすすめします。

ヘルメットは、マシンを速くする事はできません。でも、走りを悪くすることはできます。ぐらついたり、もろに目力を感じるヘルメットだと、気がちって走りに集中できず、結果として走りが悪くなるわけです。だからヘルメット、特に競技用は、安全である事はあたりまえとして、できるだけ走りを悪くする要素を少なくするよう設計するのが基本です。この思想をつきつめてできたモトクロス用ヘルメットがM-X Racing Typeです。

ヒサシは、上のはしについているヘリがヘルメット本体に密着してスキ間をあげません。だから水は入らないし、泥もつきません。又、ヒサシを止めるホックは特別強化されたもので、そのホック5ヶ止めでですから、ゴーグルをはずしたらヒサシが飛んだなんて事がないようにできています。形状はウェッジシーブを効かせた、オリジナルデザインの全天候型です。又、泥がこびりついた時、走りながらこれを取り除くための捨てバイザーが使えるようにボタンもついています。



モトクロス用ヘルメットにマウスガードは必需品ですが、これらはげしい動きをとまらなう競技だけに、顔や頭のかたち、使うゴーグルの種類等に合わせて、気にならず、しかも石や泥からうまく顔を守ってくれる位置につけないと、気がちっていきません。そこで、マウスガードは前後と上下に調節できるようにできています。取り付けネジをゆるめ、いろいろ動かして納得できる位置をさがし、その位置でネジを締め、固定してください。形状は、こけて顔を打った時、なるべく痛くないよう考えたものです。内面には緩衝体が設けられて、安全性への配慮は充分です。又、マウスガードの両端は帽体に密着してシールしますので、泥がつまる事はありません。

ヘルメット本体は、cLc構造の帽体を採用したJIS第2種のジェット型で、軽量でも安全性は充分です。内装は独創的形狀のクッションを採用し、顔をホホの下の方で押えてぐらつきをなくしているの、フルフェースをもしのぐフィット感です。重量はサイズ等で違いますが、59-60cmがヒサシ等全装備で約1,350g、でもヘルメットの重量バランスがとれていて頭の一部になっているので、負担は実重量以下に感じるでしょう。

内装は通気性のよい特殊ウレタンフォームを使用しています。ヘルメット内の換気は通常のヘルメットより大分いいはずですが、この内装には目に見えない特長があります。音がゆかはず聞こえる事です。通常のヘルメットをかぶると、自分の声さえ遠く聞こえます。M-Xは自然の音が聞こえます。マシンの調子を音で聞きわけのりに有利にできています。

規格：JIS第2種 色：白、赤、黄、青 サイズ：(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62) 価格：¥29,800

M-Xの洗い方

モトクロスではヘルメットが汚れるのは当たり前。だから汚れたら洗ってきれいにしてください。内装は水につけてもほつれないようできています。ただし、洗う時、決して熱湯はかけないでください。衝撃吸収ライナーがこわれてしまいます。せいぜい中性洗

剤とぬるま湯までにして、後はよく水洗いしてください。シンナー、溶剤等は絶対だめです。洗う時には、天井の水抜きプラグをはずしてください。洗ったら、そのままアゴ紐でさかさにつるし、風通しのいい日かげに干してください。半日かひと晩で充分使えるようになります。乾いたら忘れずに水抜き孔のプラグネジをつけておいてください。